

令和3年度年報



【令和3年6月 森林づくり塾による植付作業】（七飯町吉野山国有林）

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



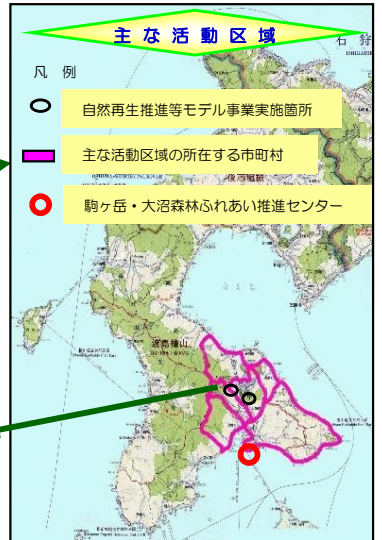
林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

大沼地域自然再生等モデル事業の取り組み

モデル事業地は、大沼国立公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所の選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、「多様性のある森林への再生」と当該地及び近接地において「森林環境教育の推進」を主とし、取り組むこととしています。



- ＝ 検討委員会 ＝
- 平成16年度
ランドデザイン作成のために3回実施。
 - 平成17年度～平成26年度「ランドデザイン」に基づく事業内容の検証及び検討のため年に2回実施。
 - 平成28年12月
役割の一部を「大沼自然豊かな森づくり協議会」に継承して終了。

☆「大沼自然豊かな森づくり協議会」

協議会参加団体等名
大沼漁業協同組合
大沼町内会連絡協議会
大沼の水を考える会
北海道国際交流センター
北方森林鳥類調査室クマガリ研究会
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会
21世紀の道南の森林づくり事業実行委員会
個人会員及び関係行政機関

昨年度における「大沼自然豊かな森づくり協議会」（書面会議）で委員からは「多様性のある森林への再生の過程における手法の確立に向けて、モデル林と隣接するスキー場と比較・検討が必要と考える」と意見があり、令和3年10月に渡島森林管理署の協力により、ドローンによる撮影を実施しましたが、撮影範囲が広く、また、機械トラブル等もあり、全域を撮影するに至っておりません。

引き続き未撮影箇所の撮影に取り組むこととしています。

★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。

☆ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22.90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



「多様性のある森林への再生」箇所において、様々な取り組みを行っています。しかし、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、「カミネッコンによる植付作業、植生観察会（春季・秋季）」は中止することとしました。

「国際ワークキャンプ」の受け入れ・・・新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

「国際ワークキャンプ」とは、世界中から集まった若者が一緒に生活をしながら、「森林の手入れ」、「動植物の保護」、「有機農業の支援」、「学校の建設」など地域での環境ボランティア活動を行う「国際ボランティアプロジェクト」で、世界約100か国、約3,000箇所で行われています。日本では国際ボランティアNGOのNICE(ナイス)が「国際ワークキャンプ」の企画、運営、参加者の募集等の事務を行います。日本各地に協力団体があり、北海道では函館市にある「北海道国際交流センター」が受皿団体になっています。

当ふれあいセンターでは、吉野山国有林（七飯町字大沼）で実施している「大沼自然再生等モデル事業」において、自然再生等への取り組みの一環として、各種森林ボランティア活動の機会を提供しています。

下記写真は、令和元年度実施活動の様子





吉野山森林植生観察会の実施・・・参加人数を限定して実施

吉野山における自然再生の取り組みについて、主に下層植生の変化（変遷）を観察するため、「植生観察」を実施しました。（春季4月28日、秋季10月13日）

ただ、今年度においても、新型コロナウイルス感染症対策で「密」を回避するために公募を取りやめ、講師等と当センター職員のみで実施しました。

春季
4月28日



エンレイソウ



オオタチツボスミレ



マイヅルソウ



ミヤマエンレイソウ



ユキザサ

秋季
10月13日



イヌタテ



エゾノコンギク



コウゾリナ



セイヨウタンポポ



ヒメジョオン

☆ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の樹木博士認定常設コース（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図る活動を実施しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための樹木博士認定会の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

樹木博士認定コース

子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「常設コース」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年6月から9月の第一日曜日に定期開催しています。



進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い、成績に応じて段級（最高位は10段）を決定し、認定書を授与します。



樹名板

認定書

コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [450 m]
テストコース [390 m]
周 遊コース [2,050 m]
- ◆ 試験 樹 種 40種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。

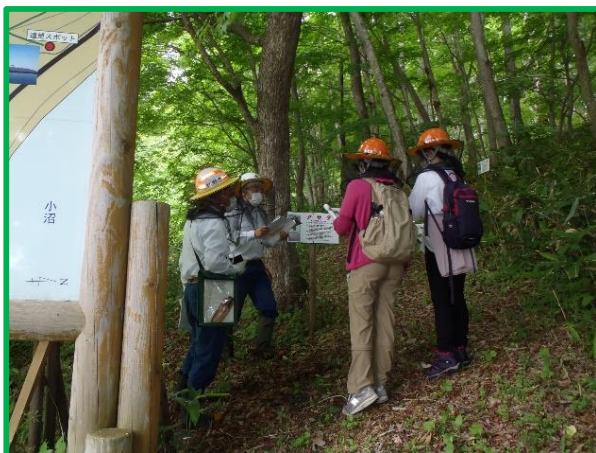


令和3年度の樹木博士認定会の取組については、公募により7月・8月の2回の定期開催を実施しました。

また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第2回開催（西大沼）



第3回開催（西大沼）



本年度の定期開催の参加者は延べ4名で、今年も参加者数が伸び悩んでいることから教育機関等への働きかけをすると共に他のイベントやホームページでPR活動を行っていきます。

● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内訳
第1回	6月 6日(日) 中止	0人	子供 0、大人 0
第2回	7月 4日(日) 10:00~12:30 (西大沼)	2人	子供 0、大人 2
第3回	8月 1日(日) 10:00~12:30 (西大沼)	2人	子供 1、大人 1
第4回	9月 5日(日) 中止	0人	子供 0、大人 0

● その他開催

職員研修	8人	子供 0、大人 8
------	----	-----------

● 樹木博士認定状況

令和3年度末 累計	2,678人 (平成12年度の旧函館分局から行ってきた合計です)
-----------	----------------------------------

☆ 自動撮影装置による野生動物調査

当センターでは、大沼周辺（七飯町）の森林における野生動物（中大型哺乳類等）の生息調査を実施しています。

- 調査目的…野生動物の生息状況を長期的に記録し、その変化と環境の変化とのかかわりを研究する。
- 調査方法…自動撮影装置（カメラ）による撮影（赤外線センサーに反応する動物を撮影）（平成26年度よりデジタルカメラを導入）
- 調査時期…年2回（7月、9月）、3週間連続で実施

自動撮影カメラの設置



PHOTO



タヌキ



コウモリ



ニホンテン



エゾシカ



ヒグマ



キタキツネ

☆ 森林づくり塾2021 開講

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、**森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成**を目的としています。

「森林（もり）づくり塾」の取り組みは今年で15年目となります。

公募を行った結果、函館市や近郊の市町村などから10名の参加がありました。

しかし、昨年同様に渡島総合振興局東部森林室との連携事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、独自開催となりました。

令和3年度は、2回（6月・7月）のみの開催となりました。

第2回講座（6月27日）

令和3年度の第1回目の活動として、七飯町大沼の吉野山国有林において、カミネッコンを使用した植付体験を実施しました。

当日は、初夏の清々しい天候の中、塾生9名と渡島森林管理署及び檜山森林管理署から若手職員を中心に7名の応援を受けて作業に入りました。

午前中は、カミネッコンの組み立て方法を渡島森林管理署の若手職員がリーダーとなり作業説明を行い、他の若手職員が塾生をフォローしながら作業したため、予定時間よりも若干早く用意した100個のカミネッコンが完成しました。

午後からは、ポット苗をカミネッコンに移植するチームと地均しをするチームに分かれて作業を行い、今度は若手職員が塾生から地均しを指導される場面もありました。

最後は全員でカミネッコンを運んで植付し、心地よい汗を流して終了いたしました。



第3回講座（7月25日）

令和3年度の第2回目は、鹿部町の駒ヶ岳国有林において治山施設の見学会を実施しました。

当日は、霧が立ちこめるあいにくの天気となりましたが、渡島森林管理署から総括治山技術官を講師に招き、塾生10名に駒ヶ岳の治山事業について説明をしてもらいました。

バスの中で治山事業の概要の説明後、現地に到着しましたが皆さんの期待していた駒ヶ岳の景色は見られず、霧の中で土砂災害から国民の生命と財産を守る治山ダムと土石流センサーの説明を受け、治山事業に対する理解を深めていただきました。



☆ 森林環境教育

🌲 若手職員等を対象とした人材育成

8月3日（火）、西大沼国有林樹木博士認定常設コースで後志森林管理署、渡島森林管理署及び檜山森林管理署の若手職員を対象とした職員研修に8名が参加し、樹木博士認定会を体験しました。

学習コースでは熱心に説明を聞き、樹木の葉などの特徴をメモにとり、識別試験では若手職員で実務経験が短いため全員が全問正解とはなりませんでしたが、好成績で終了しました。



🌲 檜山森林管理署主催「グリーンスクール」に協力

9月10日（金）、檜山署主催の「江差北小学校グリーンスクール」が砂坂海岸林で開催され、当センターは中学年グループ3・4年生16名を対象に、砂坂海岸林の展示館で、輪切の木板・枝葉・端材などいろいろ観察し軽工作を行い、森林に対して親しみを持ってもらえるようなプログラム「森の仲間たち」を実施しました。

最後に、当ふれあい推進センター所長より挨拶と児童からお礼の言葉をいただき無事終了しました。



🌲 学童保育所（ひのてん）の木工製作会に協力

12月11日（土）、函館市末広町の学童保育所「ひのてん」において、小学生15名が参加し、リースやクリスマスツリーなどの木工製作会が開催されました。

昨年に引き続き、当センターから松ぼっくり・小枝・コースターなどの材料提供を行い、児童それぞれが自由な発想で木工製作を行っていました。



令和3年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
R3. 4.28	水	春季吉野山森林植生観察会（吉野山国有林） ※少人数で実施
R3. 5.30	日	第1回森林づくり塾：開講式（函館地方合同庁舎） 新型コロナにより中止
R3. 6. 4	金	下刈体験：函館柏稜高校（遊々の森協定） 新型コロナにより中止
R3. 6. 6	日	第1回樹木博士認定会（西大沼国有林） 新型コロナにより中止
R3. 6. 9	水	下刈体験：函館有斗高校（遊々の森協定） 新型コロナにより中止
R3. 6.19	土	大沼自然豊かな森づくり協議会の植付作業（吉野山国有林） 新型コロナにより中止
R3. 6.23	水	森への誘い講座への支援（函館東部森林室） 新型コロナにより中止
R3. 6.27	日	第2回森林づくり塾：植付体験（吉野山国有林）
R3. 7. 4	日	第2回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R3. 7. 6	火	（～R3.7.27）野生動物自動撮影調査（カリマ国有林等）
R3. 7.16	金	五稜郭保安林：清掃作業支援（函館市）
R3. 7.25	日	第3回森林づくり塾：治山施設見学（鹿部町）
R3. 7.27	火	（～R3.9.8）国際ワークキャンプ（吉野山国有林等） 新型コロナにより中止
R3. 8. 1	日	第3回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R3. 8. 3	火	若手職員等（国有林）を対象とした樹木博士認定会（西大沼国有林）
R3. 8.31	火	（～R3.9.1）山形大学学生等を対象とした樹木博士認定会（西大沼国有林） 新型コロナにより中止
R3. 9. 1	水	森への誘い講座：横津岳登山（函館東部森林室） 新型コロナにより中止
R3. 9. 5	日	第4回樹木博士認定会（西大沼国有林） 新型コロナにより中止
R3. 9. 7	火	（～R3.9.28）野生動物自動撮影調査（カリマ国有林等）
R3. 9.10	金	江差北小学校の森林教室「グリーンスクール」で樹木博士認定会（砂坂国有林）
R3. 9.12	日	第4回森林づくり塾：つる切り体験（カリマ国有林） 新型コロナにより中止
R3.10. 2	土	第5回森林づくり塾：工場施設見学（森町等） 新型コロナにより中止
R3.10.13	水	秋季吉野山森林植生観察会（吉野山国有林） ※少人数で実施
R3.12.11	土	学童保育所（ひのてん）の木工制作会に協力

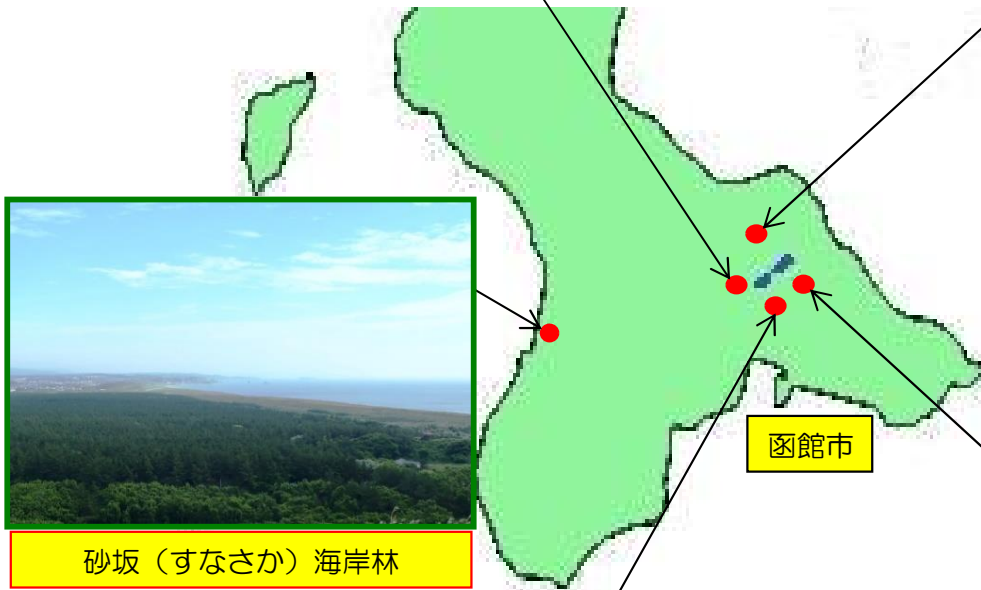
主な活動実施区域



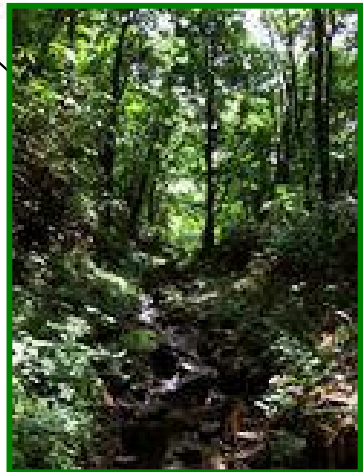
西大沼（にしおおぬま）国有林



駒ヶ岳（こまがたけ）国有林



砂坂（すなさか）海岸林



カリマ国有林



吉野山（よしのやま）国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター
〒040-0032
北海道函館市新川町25番18号（函館地方合同庁舎6階）
電話 0138-86-6897
FAX 0138-86-6651
メール h_koma_f@maff.go.jp